

事業名 揖保川町水辺の楽校 プロジェクト

治水安全度の向上を図りつつ、親水性を考慮した低水護岸及び高水敷整備を実施するとともに、町の公園整備事業や桜づつみ整備事業と一体的整備を行い、水際へアクセスしやすく安全で自然豊かな水辺空間を創出した利用者等の評価の高い事業

受賞機関 国土交通省近畿地方整備局
姫路工事事務所

兵庫県揖保川町

事業実施期間 平成10年11月～平成11年5月

事業費 894百万円

事業等の特徴

「子供川サミット」、「揖保川探検隊」等、事業の目的に合致した成果が上がっている。

事業の概要と利用者等の評価

揖保川中流部の揖保川町では「花と緑の川のまち」づくりをキャッチフレーズに水辺空間の有効利用と親水性の向上をめざした「水と緑の利用ゾーン整備計画」を策定し揖保川に隣接させて町役場や図書館併設の文化福祉会館（通称アクアホール）を建設するほか、庁舎周辺には「桜づつみモデル事業」を実施するとともに、町内の揖保川河川敷にスポーツ・レクリエーション広場の整備も実施している。

「揖保川町水辺の楽校プロジェクト」の実施施策においては、親水性を考慮した多自然型低水護岸及び高水敷整備を実施するとともに、高水敷へのアクセスとして階段護岸や緩傾斜堤防、さらには水辺へのアクセスとして階段護岸を整備することによって、子供たちが直接川に入り遊んだり学習できるようにしている。また、高水敷は揖保川町により多目的広場やにぎわい広場、せせらぎ水路、歴史広場などの施設を含めた「揖保川せせらぎ公園」の整備を行っている。

子供たちの水辺の遊びを支える地域連携体制としては、小学校教諭や幼稚園教諭、PTA役員などで構成した協議会を設立し、子供の立場・視点にたった事業計画や支援体制を検討している。

- 計画、設計及び施行のプロセスに対する評価
- ・計画段階から地元の小学校、幼稚園、PTA関係者で構成する協議会で、子供の立場・視点にたった整備方策や支援体制を検討している。
- 事業完了後、施設等に対する評価



子供川サミット



緩傾斜護岸

- ・揖保川町が取り組む小学生を対象にした「揖保川探検隊」の水生生物調査やカヌー教室などの会場として利用されている。
- ・平成13年10月に開催された「第10回全国川サミットin揖保川」の主会場として利用され、「子供川サミット」などで賑わった。「子供川サミット」では、「揖保川探検隊」が実施した水辺の楽校（川の研究室）の水生生物調査などが報告され、河川環境に対する関心が強まってきている。
- ・当施設に隣接している半田小学校では、水生生物調査結果を副読本にして活用する試みや採取した魚を学校の水槽で飼うなど、揖保川の環境学習に役立っている。また、総合的な学習の時間を「わっくわくタイム」として取り組んでおり、上流からの川下りを取り入れた環境学習などカリキュラムを開発したいとしている。
- 評価の把握手法の具体的内容
 - ・直接利用者にヒアリングを行うとともに、「子供川サミット」の成果や小学校での取り組みを視察して確認している。

審査委員会委員の意見等

- ・社会活動の一環でソフト事業としては、かなり知られている地域、今後期待できる。
- ・「水辺の楽校」の代表的な事例であり、「子供川サミット」が開催されるなど地域と一体となった取り組みが評価できる。
- ・「水辺の楽校」プロジェクトであるが、多様な試みと取り組みがなされていて、施設整備後もいろいろな形で活用されている。また評価も明確である。地域の川として、半田小学区だけでなく、その他の小学校・中学校との連携・協働も探られていると思う。